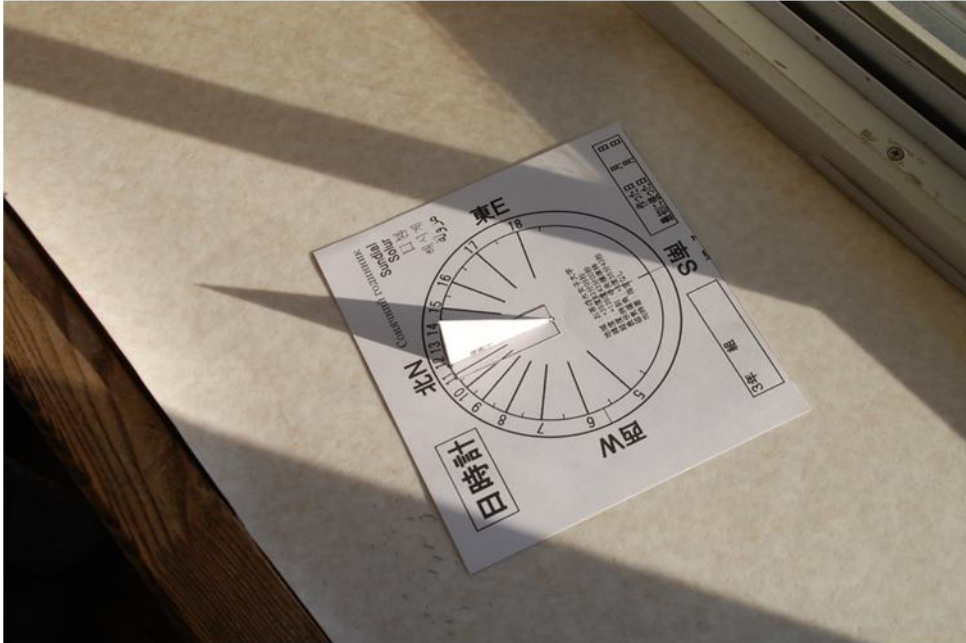


## 「日時計を使ってみる」

私が設計して、子どもたちが一生懸命に組み立てた日時計・・・翌日はよく晴れたので、さっそく屋上で使ってみることにしました。子どもたちは、もう使ってみたくで仕方ありません。教室内に射しこんだ太陽光で、試している子もいます。



### 「日時計を室内で使う」

方位さえ正しく設置できれば、日時計は室内でも使えます。風がないので、揺れずに正確です。

日時計を使ってみよう  
( )月( )日( )曜日  
3年( )組 なまえ( )

日時計の使い方と注意

日時計を使ってはかった時刻  
①( )時( )分ごろ  
②( )時( )分ごろ

気付いたこと・学んだこと

日時計を設置する上で最も大切なことは、設置場所の方位を正しく知ることです。方位磁針を使ってもいいのですが、私はまず、校舎屋上の正確な方位図を作って、子どもたちに配布してみました。これは観察用のワークシートも兼ねています。

屋上は低学年棟の4階に相当します。4年以上の高学年棟は、ほぼ東西に並んでいて、教室の窓が南向きなのですが、屋上はほぼ45°ずれています。地図の見方は社会科で1学期に学習はしているのですが、この図をうまく使えるか心配でした。

こういう活動では「関わり合い」が非常に大切です。この時も、ある子どもが、まず配られた屋上図を屋上の床に、屋上のフェンスと同じ向きに置くと、ただしい方位（北がどっちか）を得られることを発見しました。こういう知恵は、光速に近い速さで、学級全体に伝わっていきます。



### 「正しい方位に置かれた日時計」

11時45分、太陽の影は子午線（真北と真南を結ぶ線）を通過しました。

#### 【子どものワークシートから】

- ・わたしはさいしょ、日時計はどんなふうにおいても、正しく時間（時刻）がわかるんだと思ってました。でもそれはちがって、けしきの北（観測地の北）と日時計の北を、きちっとあわせないとダメなんだとわかりました。
- ・ぼくの作った日時計は、かげのいた（極軸板）のおり方がずれていたの、あまり正かくじゃないと思っていましたが、けっこう正かくでうれしかったです。

- ・ 3年生のおく上（低学年屋上）は、東西南北とずれていて、日時計と北を合わせるのが大変でした。やっぱり方位じしん（方位磁針）を使ったほうがいいと思いました。
- ・ わたしは、自分の日時計のそばにねそべって、影をじっと見ていました。ほんの少しずつ動いていました。すごくゆっくりだけど、時計のはりと同じみたいだな、と思いました。

子どもたちは、それぞれたくさんのことを学んでいるのだな、と感心しました。

（お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋）